

いなべ市議会だより

INABE

第48号

平成28年2月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報編集委員会

12月定例議会

議長・副議長・監査委員の就任 P2

新しい議会構成 P3

常任委員会での主な質疑 P4

11人が一般質問 P7

新庁舎建設特別委員会

議会改革検討特別委員会での取り組み P14

クイズ P15

訪問レポート P16

白瀬小学校

「関連記事が裏表紙にあります」

新しい議会

新議長・副議長・監査委員の紹介

12月定例議会の開会日(11月27日)に議長・副議長の選挙を行い、新議長に川瀬利夫氏(61歳・政和会)、新副議長に小川幹則氏(61歳・いなべ未来)を選出しました。



議長
川瀬 利夫



副議長
小川 幹則
もとのり

議長就任あいさつ

立春の候、市民の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
このたび、12月の定例議会において議長に就任させていただきました。職責の重さに身の引き締まる思いであり、私自身を含め、市議会といたしましても議員の資質向上に努めると共に、一層の公正・公平に加え、開かれた議会を目指していきたくと思います。

また、市民生活に深く関わる、現在、基本設計段階にある新庁舎建設に関しましても議会内で十分に議論し、皆さまに結果を説明させていただき、ご負託に応えられるよう取り組んでまいります。

どうか市民の皆さまにおかれましては、いなべ市議会に対し、より一層のご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

いなべ市議会議長 川瀬 利夫

監査委員に 新山英洋氏

12月定例議会において、議会選出監査委員として新山英洋氏(40歳・政和会)を選出しました。

いなべ市の監査委員は議会選出の監査委員および識見を有する監査委員の2名。市財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理の監査などを行います。



構成決まる

議長	川瀬利夫	副議長	小川幹則
----	------	-----	------

平成27年12月8日現在

議会選出監査委員	新山英洋
----------	------

区分	総務常任委員会	教育民生常任委員会	産業建設常任委員会
委員長	位田まさ子	種村正巳	多湖克典
副委員長	川瀬幸子	渡邊忠比古	鈴木順子
委員	新山英洋	伊藤智子	清水実
	岡恒和	小川幹則	水谷治喜
	清水隆弘	伊藤正俊	伊藤弘美
	林正男	衣笠民子	小川克己
		岡英昭	

新庁舎建設特別委員会			
委員長	林正男	副委員長	衣笠民子
委員	全議員により構成		

議会改革検討特別委員会			
委員長	水谷治喜	副委員長	鈴木順子
委員	全議員により構成		

区分	委員長	副委員長	委員	
議会運営委員会	林正男	多湖克典	清水隆弘	水谷治喜
			鈴木順子	位田まさ子
議会広報編集委員会	川瀬幸子	岡恒和	清水実	水谷治喜
			衣笠民子	岡英昭

桑名広域清掃事業組合議会議員	岡英昭			
桑名・員弁広域連合議会議員	伊藤智子	岡恒和	渡邊忠比古	川瀬幸子

議会運営委員会

後列左から、鈴木順子 委員、水谷治喜 委員
清水隆弘 委員

前列左から、多湖克典 副委員長、林正男 委員長
位田まさ子 委員

議会運営委員会では、議会運営を効率的に行うため、意見調整や議事のとり扱いの協議などを行います。



議会構成

常任委員会

一般質問

総括質疑

特別委員会

クイズ

常任委員会での主な質疑

総務



後列左から、新山 英洋 委員、清水 隆弘 委員
岡 恒和 委員

前列左から、川瀬 幸子 副委員長、位田 まさ子 委員長
林 正男 委員

平成 27 年度一般会計補正予算

Q 地域防犯体制充実事業の防犯灯について、どれぐらい自治会から要望があり、残っているのはどれぐらいあるのか。

A 平成27年 4 月から 9 月までの上半期で新設54件、修繕50件の要望があった。今回の補正予算は、既に申請があるものも含め、10月以降の下半期で新設30件、修繕42件ほどを見込んでいる。

Q 自主防災組織活動補助金について、自治会からの要望に、補正予算で対応すべきものか、また、翌年度の当初予算にするべきかなどの基準はどのように定めているのか。

A 基準は特にはない。事業が年度内で終了するのか確認し、補正予算要求ができる状況か確認する。防災等に係るものについてはできる限りしたい。

Q コミュニティ助成事業（宝くじ）の採択される優先順位はあるのか。

A 地縁団体の認可を受けている自治会が優先される。また、1 回の申請だけでは採択される可能性が低く、何度も申請されている自治会が優先される。

Q 裁判所予納金21万5000円の増額補正は裁判所への申し立ての費用ということであるが、何件分を見込んでいるのか。

A 地方税法第342条および市税条例第54条の規定によって固定資産税の課税を現在行っているが、相続人が不存在な物件を課税する場合、相続財産管理人が必要となるので、裁判所に対して選任申し立て事件を申し立てている。

当初は 2 件分80万円を見込んでいたが、既に 1 件分の予納金約50万円を支出したため、追加申し立てを行うための費用を補正。

Q 大安南分団詰所整備工事を平成28年度に遅らせる理由は。

A 梅戸北教育集会所用地の一部を大安南分団詰所の進入路として整備計画をしていたが、梅戸北教育集会所の取り壊し工事が平成28年度実施予定となったため。



後列左から、伊藤 智子 委員、小川 幹則 委員
衣笠 民子 委員、伊藤 正俊 委員
前列左から、岡 英昭 委員、種村 正巳 委員長
渡邊 忠比古 副委員長

平成 27 年度一般会計補正予算

Q 今回の火葬炉解体事業補助金の補正予算は、大安町石樽南の淵・出口・大門でつくられている 1 炉と梅戸北の 2 カ所を予定しているとのことであるが、補助金額は。また、今後の見通しは。

A 自治会で設置されている火葬炉を解体する場合、ダイオキシン類等の環境保全を図る目的のため、新規に補助金を出すもので、補助限度額は 100 万円（解体費用 2 分の 1 補助）。来年度も 2 カ所を予定。

Q 国民年金システム改修の業務内容は。

A 国民年金保険料納付率の向上対策のため、今まで猶予年齢は 20 歳から 30 歳までの申請が対象になっていたが、20 歳から 50 歳まで納付猶予制度の対象者が拡大されることになり、その年齢判定の修正を行うもの。（平成 26 年度に法律が改正され、平成 28 年 7 月施行。平成 37 年 6 月まで）

いなべ市立（仮称）ほくせい保育園新築工事

Q （仮称）ほくせい保育園は平成 28 年 6 月頃の開園を予定しているようであるが、4 月の入園時は阿下喜保育所と十社保育所で受け入れるのか。

Q 生活保護事業の医療扶助費は今後も増えていくのか。

A 生活保護の対象者が高齢になり、医療扶助は増えていく。国は医療扶助の増額を抑えるよう、ジェネリック医薬品の推奨をしており、いなべ市としても医師会にお願いしている。

Q 地域おこし協力隊事業の自然科学活動支援協力隊の協力隊員になる要件は。

A 3 大都市圏からいなべ市に来てもらい、自然科学館の活動をより活発にするため、いなべ市の自然の魅力を発信してもらう。資格や年齢、性別の要件はない。

A 開園するまでは園児の環境、保護者と担任との関係などを最優先し、平成 28 年 4 月は在園児も新入園児もすべて施設の広さが確保できる阿下喜保育所で受け入れる予定。

産業建設



後列左から、水谷 治喜 委員、伊藤 弘美 委員
清水 実 委員
前列左から、小川 克己 委員、多湖 克典 委員長
鈴木 順子 副委員長

平成 27 年度一般会計補正予算

Q 農地中間管理事業について、いなべ市全体でどれぐらい実施されているのか。

A 現在、いなべ市内に約 3,000ha の田畑があり、2,200ha が田、800ha が畑。そのうち、所有者が担い手に貸し出している割合が 52%。また、集落営農組合へ全面的に作業を委託している割合が 23%。

Q この成果はどのように期待されるか。

A 農地中間管理事業について平成 26 年度は三重県下で 78ha のうち、いなべ市が 33ha。平成 27 年度は 100ha のうち 40ha をいなべ市が活用。この制度が始まったときから、いなべ市が事業の推進モデルとなり進めている。

また、本年 10 月にこの制度をいち早く活用した下笠田農家組合が東海農政局長から表彰され、県下トップを切って活用している。

※農地中間管理機構集積協力金は平成 26 年度に創設され、農地中間管理機構（貸借の仲介をする機関）を通して、農地の貸借が成立した所有者並びに現在借りている担い手の分散している農地を併続きになるように集約化を行った農家組合に対して協力金として交付される。

Q 高齢化が進む中で、これからも農業を続けてもらえるような対策はあるのか。

A 現在、農業を^{なりわい}生業とする認定農業者は 110 人ほどいるが、そのうち 6 割が満 60 歳以上と高齢化している。認定農業者は申請してから 5 年間の認定期間があるが、満 65 歳を超えた人が更新をする場合は、必ず後継者を指名してもらい、その後継者に、本当に後を継ぐのか意思確認をしている。

Q 水路や農道の改修工事は国の補助金が減らされているとのことであったが、減らされても修理は必要であると思うが対策は。

A 要望箇所もたくさんあるので、随時、予算の範囲内でできる限りの努力はしている。高額工事になる場合は、市の負担が多くなるので、国に補助金申請をしている。しかし、全国的にどこの地区でも農林水産費の補助が非常に少なくなっているため、今回、340 万円の事業費で 50% の 170 万円しか補助対象にならなかった。大きな工事については少し待ってもらっている。その他、機械などの修理は県補助金を活用するなどして進めている。

13 議案のすべては全会一致により原案のとおり可決

一般質問

市政を問う

11人が登壇

一般質問は答弁を含めて一人あたり45分。会派の場合は人数を会派の持ち時間として、その範囲内で一人60分を上限に会派内で割り振っています。

要約して掲載しています。

清水 隆弘.....8

1. FMいなべとの関係について
2. 多子世帯への支援策について
3. いじめ・不登校対策について

位田まさ子.....8

1. 員弁老人福祉センターのエレベーターの修理を
2. いなべFMについて

小川 克己.....9

1. いなべ市長3期目の総括について
2. 市有地について問う
3. 市内道路への車体等障害物の放置について

伊藤 正俊.....9

1. 道路整備と交通安全対策
2. 水道施設の災害対策と水道事業

鈴木 順子.....10

1. 防災FM放送について
2. 生活困窮者自立支援法に基づく事業について
3. 公職選挙法改正による課題について

小川 幹則.....10

1. 子どもを取り巻く環境について
2. 消費者教育の充実について
3. 障がい者福祉の拡充について

岡 恒和.....11

1. 市の文書処理を問う
2. イオンアグリと市の農業振興策について

衣笠 民子.....11

1. 新庁舎建設を問う

清水 実.....12

1. 農地・水・環境事業について
2. ハルザキヤマガラシについて教育長に問う

渡邊忠比古.....12

1. コミュニティFM放送運営委託料について
2. ツアー・オブ・ジャパン開催について

川瀬 幸子.....13

1. 温暖化防止対策について
2. 地方創生への取り組み



創風会

清水隆弘

1. FMいなべ（文化協会）との関係を質す
2. 多子世帯への支援策は
3. いじめ・不登校対策のさらなる充実は

【質問1】①FMいなべの理事、番組審議員。政治的中立・公平性が求められるFM放送。現在のメンバーを市は知っていたか。②現在の市の認識は。③なぜ防災協定締結に2年半もかかったか。④もっと議会、市民の声を真剣に聞き対策を講じるべきだと考えるが。

【総務部長】①事前に把握していなかった。②協議や連携が不足していた。③債務負担行為へのこだわりがあった。④その通り。

【質問2】①「病院のコンビニエンス化」以外の医療費の窓口無料化のデメリットは。②医療費の窓口無料化への最新の情報は。

【市民部長】①受診が1.3倍になり加入医療保険の負担分、福祉医療の助成額が多くなり、市の負担も多くなる。②昨年度北勢5市の担当者で会議を持ったが、春に鈴鹿市長が導入に前向きな発言をしたので、一時止まっている。

【質問3】①いじめ・不登校の傾向は。②いじめは基本方針や審議会、条例等制度が整ってきた。不登校は。③「新」教育委員会制度で「総合教育会議」が設置され、市長の教育委員会への関与や権限が制度的にも大きくなった。市長の考えは。

【教育長】①いじめは減っている

が不登校は減っていない。②不登校は国からの動きがないのでそういったものはない。

【市長】③学校だけでは解決がつかない。市全体でいじめのない、人権を大切にするまちづくりに取り組む。



いじめ・不登校の専門の職員が配置されている「教育研究所」



創風会

位田まさ子

1. 員弁老人福祉センターのエレベーターの修理予定は
2. いなべFMのあり方を問う

【質問1】平成25年から員弁老人福祉センターのエレベーターが壊れている。修理の予定は。

【福祉部長】施設の耐震能力はある。これからも福祉の拠点として使用するため、平成28年度に施設全体の調査、平成29年9月末に完成を目指して大規模改修を行いたい。

【質問2】①文化協会の会長が替わったが話し合いは。②FM放送に関して他市の調査、研究、研修は。③放送運営委託料の支出科目の見直しは。④4,200万円の支出根拠がないことが分かった。金額の精査および文化協会と協議は。

債務負担行為の減額は。⑤緊急情報放送によって損害が発生したと判断する基準と賠償の内容は。⑥防災情報伝達システム工事の進捗状況と維持管理の金額は。総工事費13億円の内訳は。

【総務部長】①新しい方針を計画中なので、できた後にする。②研修は特にしていないが、調査、研究として「エフエムよっかいち」に行っている。③これから決めていく。④協議はまだできていない。今後協議をしていく。⑤損害賠償は生じないと考えている。⑥藤原の中継局2局と拡声子局を12月から始める。維持管理とメンテナンスで約830万円。平成29年度

以降は約1,450万円かかる。総工事費13億円の内訳は、文化協会に払う債務負担行為の約1億8000万円が入っている。その他設計に関わる部分が2,520万円ある。



員弁老人福祉センター



創風会

小川 克己

1. 市長 3 期目の総括は

2. 道路への車体等障害物の放置対策は

【質問 1】①3期目の総括と市民が主役のまちづくりの取り組みについてどう考えるか。②市民の声を直接聴くためのタウンミーティングを開く考えは。

【市長】①全中学校の完全給食化と水道料金の一本化で、12年で一つ基準ができ、いなべ市の一本化の醸成ができた。企業誘致により雇用を生み出し、税収の確保に努めた。平成25年より観光に重点を置き、にぎわいを中心に、いなべの自然を生かして、モンベルフレンドエリアに登録。名古屋市場に近いので「農と食」をPRしていく。市民が愛着と誇りをもってPRできるように努め、いなべに

来てもらい定住に向けて努める。

②平成15年と平成22年には各自治会に出向き懇談会をしている。必要とあれば検討していきたい。新庁舎については平成28年1月に市内4カ所で再度説明会を開く。

【質問 2】道路が狭く対向が困難なために待避場が作られている。また、歩行者の安全通行のための歩道であるのに廃車が放置されているが持ち主への指導と改善は。

【建設部長】道路交通法により、警察と協議のうえ、放置車両の撤去に向け適切な対応をする。



1. 道路整備と交通安全対策は

2. 水道施設の災害対策と水道事業を問う



政和会

伊藤 正俊

【質問 1】①鎌田橋先の交差点を先頭に朝夕の通勤時に渋滞が起きる。この信号から500mの範囲内に東海環状自動車道が接続、さらに新庁舎、関連施設建設にともない新設の市道がつながり、信号が2カ所増設される。環状道路からの車は日に何台か。鎌田交差点の渋滞対策はどうか。②県道畑毛本郷線で、下相場の改良工事を以前に一般質問で取り上げられたが進んでいない。ここは旧の町境で藤原は用地を15年も前に買収している。早く着工をするように県に依頼すべきと思うがどうか。

る。三重県ではその工事に合わせ整備計画があり、国、警察等関係機関と調整中。早期完成を要望していく。

②改良工事、バイパス工事の早期着手、完成を要望していく。

【質問 2】①地震予測が報じられ他の地域では避難訓練が行われている。企業会計であるが水道施設の災害対策はどこで検討されているのか。市はどんな対策を行ってきたのか。②旧4町間をつなぐ配水管を設置したらどうか。災害対策にもなるのではないかと。

に、水道部では独自に「水道部防災マニュアル」を策定し、全職員による防災訓練をしている。大規模災害時の対策として、応急復旧体制の整備、配水池、基幹管路の耐震化を進めている。②耐震化を優先しながら、各町間の連絡管を考えたい。



【建設部長】①北勢インターチェンジで6,400台と推測されてい

【水道部長】①水道ビジョンに沿った災害対策の充実を図るととも



いなべ未来

鈴木 順子

1. 防災FM放送の拡充、活用策は
2. 生活困窮者自立支援法に基づく事業を問う
3. 公職選挙法改正による課題は

【質問1】①FM放送の電波の届かない不感地帯の状況と対策は。②市政情報番組の拡充の考えは。③防災FM放送を広域で活用する考えは。

【総務部長】①十社、山郷地区の一部（鼓）、立田、中里、白瀬地区の一部が不感地帯。中継局を建設中だが、個々の対応ではCTYとの連携も考えている。③現在はいなべ市のみ活用。

【企画部長】②時間帯を固定化し、市民に身近な情報をより拡大するようFMいなべに要請している。

【質問2】①本年4月より設置された「^{えにし}縁」の現在までの相談件数

は。②ひきこもり支援の現状は。③今後の課題は。④地域のボランティア団体やNPO法人との連携など今後の取り組みは。

【福祉部長】①平成27年4月から68件。②ひきこもりの相談件数は4件。^{*}アウトリーチをし、個々に合わせた支援をしている。③生活困窮者には複合的な要因があり、専門的な知識・スキル（技能）や支援に社会資源の活用が必要。相談窓口の増設も考えている。④NPO法人との連携を考えている。

【質問3】①来年の参議院選挙より18歳選挙権が実施されるが、どのような啓発をしていくのか。

②投票にあたっての環境整備をどのように考えていくのか。

【総務部長】①高校3年生も対象になるので、国において副教材を準備している。市として皆さんの目につくような所での啓発を考えていく。②期日前投票所を利便性のある所で作っていきたい。

※アウトリーチとは、潜在的な利用希望者に手を差し伸べ利用を実現させる取り組み。



ひきこもり相談窓口をしている「くらしサポートセンター-縁」（大安庁舎内）



いなべ未来 もとのり

小川 幹則

1. 子どもを取り巻く環境は
2. 消費者教育の充実策は
3. 障がい者福祉の取り組みは

【質問1】①小中一貫教育について、教職員研修等の取り組みは。②防犯対策について、関係機関との連携、子どもたちへの啓発は。③インターネット利用の実態を把握し、学校関係者の研修、保護者、児童生徒への注意喚起は。

【教育長】①各小中学校の推進リーダーを中心に先進地視察研修等を実施。いなべ市に合った一貫教育を進める。②警察と連携して防犯教室を行う。③学校で情報教育を行い、学校だよりや県のチラシを配布している。

【質問2】①消費者教育の認識について学校教育・高齢者などへの

対策は。②消費者教育への取り組みと地方消費者行政活性化基金の活用は。③消費生活相談員による消費者トラブルの解決に向け具体的な取り組みは。

【農林商工部長】①消費生活に関する知識を習得し、実践能力を育成する。②消費生活相談員の任用や出前講座の啓発物品を購入した。③研修会等に積極的に参加し、レベルアップを図り啓発に努める。

【質問3】①障がい者の就労支援について、地域で暮らすため、どのような施策を考えているか。②災害時の対策について、障害の種類や程度に配慮した訓練、啓発等

の実施状況は。③相談体制（窓口体制）の充実について、何でも相談できる窓口の現状と今後の取り組みは。

【福祉部長】①たんぼぼ作業所で就労移行支援を行う。②現在は実施していないが、今後検討していく。③相談事業所を増やし対応することを検討している。



たんぼぼ作業所



日本共産党いなべ市議団
岡 恒 和

1. 市の文書処理を問う

特定業者との癒着で行政がゆがめられていないか

2. イオンアグリ創造(株)と市の農業振興策を問う

【質問1】(1)文書管理規程と公印使用規則について。①文書管理規程の目的、範囲は。②規程によらない処理はあるか。③公印を使用する手続きは。(2)㈱ユニ・ロットに発行した「賃貸証明書」について。①「証明書」と決裁文書の写しを請求したが無かった。同様の処理はこれまであったか。②市長印の押印は「いなべ市公印規則」により処理したか。③賃貸見込みを証明する確認方法は。④市の規則によらず押印した理由は。⑤民間の所有地確認はだれがしたか。

【企画部長】(1)①文書事務の適正かつ効率的な処理を図るこ

と。市長権限のおよぶ範囲すべて。②原則ない。

【総務部長】(1)③公印保管責任者に決裁文書を示し、使用簿に日付、担当課、文書番号、発送先等を記入して使用承認を得る。

【都市整備部長】(2)①㈱ユニ・ロットに6件、シャープ(株)に3件発行。②決裁文書は作成せず、市長から口頭で決裁を得ていると説明して押印した。③土地所有者から貸しても良いと口頭確認した。④処理に誤りがあった。お詫びする。

【市長】(2)④市長の責任で行った。誤りであった。⑤自治会長等から依頼され私がした。

【質問2】①協定書と農業振興策との整理は。②協定書はどこが担当し、どちらが働きかけたか。③今後の方向は。

【農林商工部長】①していない。②当課が担当し、イオンアグリ創造(株)の協定書をもとにした。③新規就農者研修の受け入れや雇用拡大に期待。



賃貸証明書

1. 新庁舎建設を問う

【質問1】①旧庁舎はどうするのか。②新庁舎を平成30年をめどに建て、旧庁舎も残すとしているがいつまで維持するのか。③旧庁舎等の整備費用は。④「にぎわいの森」の事業は市民の理解が得られているか。⑤「にぎわいの森」に出店する店舗の見通しは。⑥説明会開催は。⑦以前の説明会の意見はどう反映したか。⑧さまざまな計画変更はどこで話し合われ、どこが決定してきたか。

【市長】①大安庁舎は社会福祉協議会、国際交流協会と総合窓口。員弁庁舎は図書館と総合窓口。北勢庁舎は中央図書館と総合窓口。藤原庁舎はバスターミナルと総合

窓口。②まず軽微な変更をし、時代のニーズによってその時その時で判断。③最適化事業債など新たな事業債を利用。④にぎわいは必要と認識してもらっていると思う。⑤視察の提案をしたところが最低基準。その水準以上のものを誘致できれば。最終的には募集の上で決定。⑥1月13日員弁老人福祉センター2階、1月14日北勢福祉センター2階の大会議室、1月15日大安公民館2階の大会議室、1月18日藤原庁舎2階で説明会開催。⑦総合窓口的なものは地元ということで総合窓口は置く。旧庁舎も外観として残っていることに対する安心感もあるので残す。⑧職員や会った市民からの意見を

聞き、その都度判断をして変更してきた。



新庁舎完成予定図



無会派

清水 実

1. 東禅寺自治会の農地・水・環境事業 活動報告書の取り扱いに問題は 2. ハルザキヤマガラシについて問う

【質問1】①報告書が廃棄処分された真相は。②平成24年の一般質問で農林商工部長が「説明会があれば出席する」と答弁があったが出席しなかった理由は。③報告書が全戸に配付されなかったことで地域の人たちの学習機会が摘まれたと思う。それなのに税金の無駄遣いではないという理由は。④廃棄処分されたなら補助金の返還が必要ではないか。

【農林商工部長】①廃棄処分したかどうかは、当時の代表者は「清水議員が直接聞いてくれればよい」という返事だった。②連絡がなかったので出席できなかった。③報告書の利用についてはその自

治会で決めることであり、報告書の全戸配付が補助金の条件にはなっていない。④利用されずに廃棄処分されたのなら県を通して国に返還することになる。

【質問2】①「藤原岳第3巻」のハルザキヤマガラシ駆除作業を読んでどう考えるか。②事業者と対等に話し合い、解決すべきと考えるがどうか。③自然保護関係者とも話し、解決すべきと考えるがどうか。

【教育長】①対策としてはこれ以上生育範囲が広がらないようにすることが大事。管理者である三重県から要請があれば対応をする。

②管理者である三重県と事業者で話し合うべきことがあるかもしれないが、市はその立場にない。③共同で駆除している。正規の職員は参加していない。



ハルザキヤマガラシ



無会派

渡邊忠比古

1. コミュニティFM放送委託料を調査する意向は 2. ツアー・オブ・ジャパン開催を問う

【質問1】①コミュニティFM放送委託料について、地方自治法第221条に基づき調査する意向はあるか。②平成26年度人件費で、会長603万円とパーソナリティー532万2000円を除く1,263万円の内訳は。③文化協会との覚書3条で「審査する」とある。誰が審査するのか。所見はあるか。④いなべFMは将来、自立法法人へ向かうことが必要と思うがどうか。⑤平成25年度の6カ月分2,100万円の活動計算書は見られるか。⑥委託料の覚書はあるか。

【総務部長】①今調査することは考えていない。②給与の1,263万円は常勤3名、非常勤1名分。個々

の金額は聞いていない。③危機管理課で審査する。日付等を記載した所見は残していないが、今後考えていく。④法人化の方向で進む事が一番良いと思う。⑤あるが今は出せない。資料請求があれば出す。⑥ない。

【質問2】①集客を平成31年に25,000人にする対策は。②協賛企業、団体の目標数は。③実行委員会の立ち上げ時期とメンバー構成は。④メイン会場の飲食ブースの予定は。⑤初回の課題や反省をどう生かすか。

【副市長】①広報活動を強力に進める。②定めていない。③12月15

日に立ち上げ。メンバーは今回のメンバーと周辺自治会の代表者。④いなべ産品を含む10ブース。⑤上川原橋^{うしかい}に至る交通規制に対する迂回路説明不足の改善。



無会派

川瀬 幸子

1. 温暖化防止対策は

2. 地方創生の取り組みは

【質問1】①市の取り組みは。②エネルギービジョン策定後の成果は。③再生可能エネルギー導入の進行状況は。④国・県関連予算の利用状況は。⑤資源・エネルギー有効活用の構想は。⑥「ジュニアサミット」開催について、市の対応は。

【市民部長】①小中学校へ太陽光発電・集中リモコンを設置。②契約電力20%削減目標に、庁舎ではグリーンカーテン等の取り組みで削減している。③学校での太陽光発電や温度差エネルギーもランニングコストを考え、慎重に検討中。④学校関係で活用中。⑤助成制度の啓発・普及とCO₂削減も

図っていく。⑥当市に関われば検討する。

【質問2】(1)①地域おこし協力隊の総合的な相談窓口は。②地域や団体などとマッチング、交流等を支援する部署は。(2)ツアーオブジャパン INABE 開催に向けて目標と課題。(3)地方創生の一環として、廃校される小学校の活用に向け、地域との話し合いやアイデアを持った市民との意見調整はどのように図るのか。(4)「小さな拠点」の形成支援を行うべきと思うが、地方創生に生かす考えは。

【企画部長】(1)①政策課。②受入担当課。(4)地域の要望などが

あれば国の動向を注視しながら情報収集等を行う。

【副市長】(2)道路も含めて改善に向け、観客増のみならず年間を通じて自転車で訪れやすいまちづくりにつなげたい。

【教育部長】(3)地域で検討中。



活躍中の「地域おこし協力隊員」

総括質疑 Q & A

税条例の一部改正

Q 徴収の猶予、徴収金の分割納付または分割納入はどのように行われてきたのか。

A 職権で納税者の立場に立ち、分割納付の希望申し出によって、期限内に納付ができない事情があるのか聴き取りを行う。やむを得ない場合は、納税誓約書をもらい、原則1年以内で了承し、分割納付という方法をとってきた。

Q 今回の改正で変わる点は。

A 納税者にとって一番わかりやすいところは、50万円以上で担保をとることが100万円以上になる。

藤原文化センターの改修工事設計委託料の減額

Q 800万円減額された理由は。

A 藤原文化センターの設備機器の更新、全体的な修繕、館内の改装や模様替え等の改修工事の設計を当初予定をしていた。

その後、新庁舎建設や市内の公共施設全体の整備、用途等の目的など再確認が現在行われている。この計画に対して、保留をするために減額をする。

今後、藤原文化センターの施設の整備についても再度、検討をしていきたい。

Q 市長からは「自然科学館を藤原の廃校とする小学校へ移転させたい」「郷土資料館についても同様にしたい」のでこれまでの計画を撤回し、議論

をし直したいとの発言があった。「あらためて議論をし直す」のはどの場で議論をするのか。

A 藤原の小学校5校については今後の活用の部分を地域の自治会とも相談をしながら進めていきたい。

自然科学館活動支援隊

Q 自然科学館活動支援隊は、①学芸員の資格を持った人なのか。②何人か。③どのような業務を行うのか。

A ①資格は要件に入れていない。②1人。③自然科学館の展示や自然教室の運営などの支援を行う。

新庁舎建設特別委員会のうごき

議会からの提言づくり始まる

副委員長の辞任にともない、12月定例議会の開会日（11月27日）に新副委員長に衣笠民子氏を選出しました。

新庁舎建設特別委員会では、新庁舎という、いなべ市の一大プロジェクトに対して「議会からの提言」を市長に提出するよう提言づくりが始まりました。

質問項目をまとめ、提出し、1月8日に特別委員会を開催して、市当局の回答、説明、委員からの質疑を行いました。引き続き、住民説明会に参加して住民のみなさんの声を参考に提言をまとめ、市長に対して提言を提出していきます。

政策に対する初の特別委員会として、二代表制の役割（市民の声を提案）を果たしていきます。



新庁舎建設特別委員会の様子

議会改革検討特別委員会のうごき

「議会基本条例」の制定を目指します

いなべ市議会では、昨年6月に議会基本条例の制定に向け「議会改革検討特別委員会」を設置しました。委員会にはさらに、作業部会（各会派等から選出された委員で構成し、議長、副議長がオブザーバー参加）を設け、議会運営の細部にわたって調査研究を行っています。

これまでに、議会改革検討特別委員会4回、作業部会14回、研修会1回を開催しました。



江藤教授による「議会基本条例のポイントと議会審議のサイクル」について講演

議会の果たすべき役割と目的を 達成する決意を明らかに

市政の一翼を担う議会は、これまでも市民の代表として地域の中で築き上げられてきた歴史、文化、多様な価値観を重視し、多様な意見の反映に努めてきました。議会基本条例は、議会の役割を明確にするとともに、議員自らの見識を高め、研鑽を求めるものです。委員会では平成29年条例制定を目指し、これまで以上に市民に信頼され、住みよい豊かないなべ市の実現に貢献したいと考えています。

クイズ

問1 議会では特別委員会が2つ設置されています。「新庁舎建設特別委員会」ともう1つの特別委員会の名称は。

議会〇〇検討特別委員会

問2 白瀬小学校で作った、かぼちゃの名前は。

〇〇〇〇かぼちゃ

問3 昨年から開催されている自転車ロードレースの名称は。

ツアー・オブ・ジャパン 〇〇〇ステージ

答えはすべて「紙面の中」にあります。
ぜひ、ご応募ください。

応募方法

官製はがきに「答え」・「住所」・「氏名」・「年齢」を記入してお送りください。

正解者の中から抽選で15名の方に「図書カード」をプレゼントします。

☆あて先 〒511-0292

いなべ市大安町大井田 2705 番地

大安庁舎内 いなべ市議会 議会事務局

☆締切日 平成28年2月19日(金)《当日消印有効》

※応募いただく「はがき」にスペース(空白)ができましたら、「議会だより」や「議会」に対するご意見やご感想もぜひお書きいただき送付ください。

なお、「はがき」にご記入いただいた個人情報につきましては、目的以外に一切使用いたしません。

議会広報編集委員会



私たちが1年間「議会だより」作成を担当します。

後列左から、衣笠 民子 委員、岡 英昭 委員
水谷 治喜 委員

前列左から、清水 実 委員、川瀬 幸子 委員長
岡 恒和 副委員長

3月定例議会(予定)

◆開会日	2月18日(木)
代表質問	3月1日(火)
一般質問	3月3日(木)
	3月4日(金)
総括質疑	3月9日(水)
総務常任委員会	3月10日(木)
教育民生常任委員会	3月11日(金)
産業建設常任委員会	3月14日(月)
◆閉会日	3月17日(木)

市議会では本会議の開催日に傍聴席を開放しています。お気軽にお越しください。
(受付場所：いなべ市役所大安庁舎 2階ロビー)

市議会のホームページから本会議の生中継をご覧いただくことができます。
また、議事録も公開しています。

編集後記

《今年の三重は熱い》4月に『ジュニアサミット in 桑名』、5月には第42回先進国首脳会議『伊勢志摩サミット』が開催されます。その影響を受けて、昨年から開催されている自転車ロードレース『ツアー・オブ・ジャパンいなべステージ』が6月1日になりました。

今号から議会だよりの裏表紙は、「統合される藤原地区の5つの小学校」を訪問レポートとして、シリーズ化していきます。市民の皆さまと、ふれあい、参加してもらえるページも愛読されることを願っています。

議会だより発行から13年目に入ります。第48号から1年間この6人の広報委員が担当します。

皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしています。

訪問レポート 白瀬小学校 生活科・未来いなべ科の取り組み

1・2年生



5月、さといも植え。地域の方に植え方を教えていただきました。10月、しろせつ広場で、本郷ボランティアの方に、汁団子をつくっていただきました。おいしかったです。



畑で収穫した野菜（ピーマン、ナス、トマト）を使って、生活科の時間にピザを作りました。とてもおいしかったです。野菜が苦手な子も、「おいしい」といって食べました。



9月、地域の方と一緒に作ったジャンボかぼちゃを収穫しました。「運ぶのが重かったです」運動会に、このジャンボかぼちゃの重さ当てクイズを行いました。

3・4年生



地域の方にドラム缶を使った竹炭作りを教えてくださいました。みんなで、竹を割って、ドラム缶の中に、割った竹をすきまなく詰めこみました。火をつけるとき、顔を真っ赤にしてうわで風を送りました。



竹炭はできているかなと目を丸くして、ドラム缶のふたを開けてみると、たくさんの竹炭ができていて、歓声が上がりました。この後、顔を黒くして竹炭をのこざりて短く切りました。



毎日見ている学校周辺の草花ですが、講師の先生に、葉っぱのすごい力や私たちの生活の中に植物が利用されていることを教えていただきました。「へえ、そうなんだ」、植物には不思議がいっぱいでした。

5・6年生



自分たちでゲームや合奏を考え、地域にある老人ホームを慰問し、交流を深めました。おじいさん、おばあさんの笑顔、子どもたちの笑顔、心温まる交流会になりました。



車いすバスケットをやってみる方に来ていただき、福祉体験学習を行いました。車いすのすごいスピードと、車いすの上から放たれる見事なシュートに歓声が上がりました。



10月に行ったしろせつ広場では、子どもたちが保護者の方と一緒にもちをつき、5・6年生が全校児童、保護者、地域の方にふるまいました。地域が一体となって楽しめる白瀬の一大イベントです。

